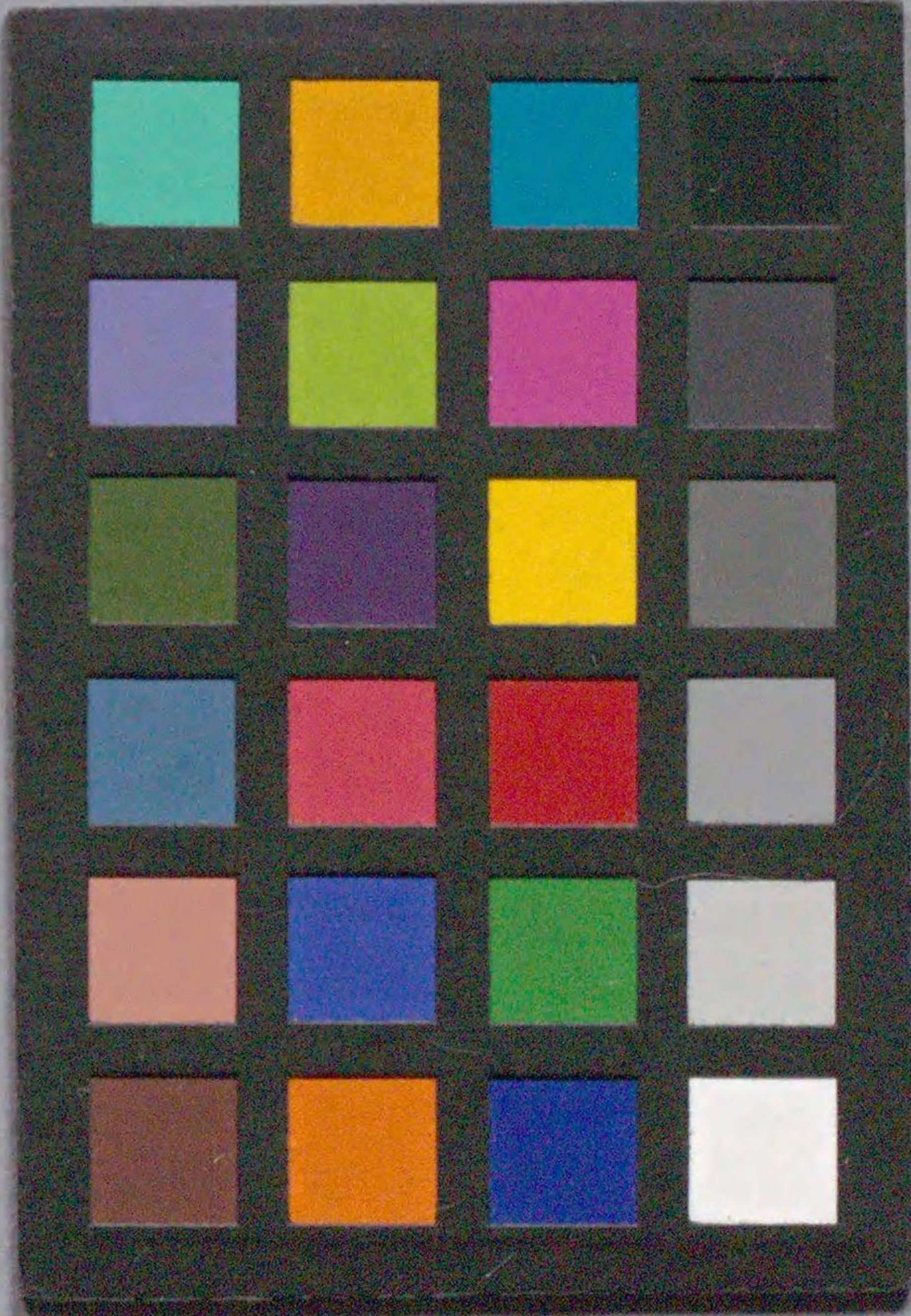




207  
823

大島台婚礼盃

如左百三十三



国立国会図書館 大島台婚礼盃 2編6巻 207-823

ガラス使用







墨川亭雪磨作

全六冊

文政十三  
庚寅春  
新繪及紙

# 大婚

あよと  
橋詰まぐ

あふ乃

壺  
壺  
壺

みなのや

前編三冊

一筆庵英泉画

販元 紅英堂

壹

禪史と以て花嫁に比し醒々翁が双蝶記の序文に云えり。通入意  
 と長持買ぬ柱層が百度出ると近松翁が海瑠璃に第一とて作者  
 娘は寮を看官の女化婦乃清意第一とて作者  
 か長持買ぬ柱層が百度出ると近松翁が海瑠璃に第一とて作者  
 同前可愛らしの専らそ外題乃色指色直第一とて作者  
 紅くはしと張込の蔭めや賣の祝儀に誦ひ物集第一とて作者  
 声高砂砂木が枝このまの鳥屋が物妻の賣初第一とて作者  
 笑ひ初第一とて作者の黄金と車第一とて作者積第一とて作者未第一とて作者五歳第一とて作者子種第一とて作者とみみ  
 子孫繁昌長久其基紙開第一とて作者婿神第一とて作者盃三九第一とて作者とみみ

文政十三寅春新版

墨川亭雪磨誌





舊國

小島  
子方



難波の俠客

六紋性兵衛

實花垣若黨

堤の弥惣

樽  
生  
源



浪速の俠者

黒船宙右衛門

宙右衛門の妹  
奴の小方

原  
隆房の臣  
濱地  
舟大夫







隆房の廐中間馬平  
飯小 烟草屋現六

梅盛

文  
流  
や

巨  
良之助  
姉



隆房の  
息女  
瀧川姫

隆房の忠臣花垣良之助  
飯 鎌倉屋語路八











Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a narrative or commentary related to the illustration above.



Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the narrative or commentary from the left page.











Handwritten text in kuzushiji script, organized into several vertical columns. The text is dense and covers most of the page area below the illustration.

Handwritten text in kuzushiji script, organized into several vertical columns. This text is positioned above the main illustration on the right page.







































英泉画

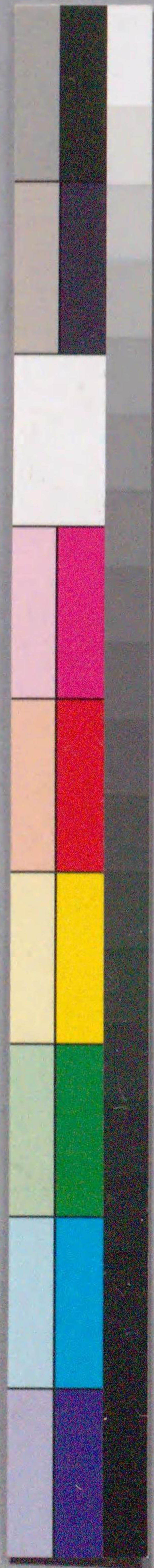
雪磨作

浄書 仙橋

美玄香  
美艶仙文香  
おんちの守り  
坂本  
甘のえみ  
おんちの守り  
美玄香  
美艶仙文香  
おんちの守り  
坂本  
甘のえみ  
おんちの守り







国立国会図書館 大島台婚礼盃 2編6巻 207-823

ガラス使用





文政三寶春新版紅葉堂販

後編







おきんちやうとむねちやうはに  
 ちやうのちやうおきんちやうはに  
 おきんちやうとむねちやうはに  
 おきんちやうとむねちやうはに

大  
 ぬ  
 ぬ



丹三 編 後

おきんちやうとむねちやうはに





















五



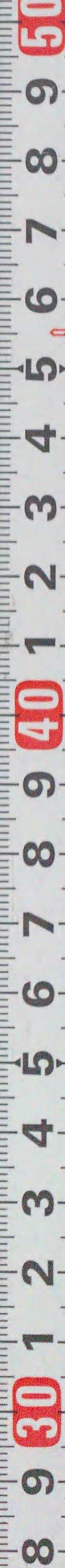












































国立国会図書館 大島台婚礼盃 2編6巻 207-823



ガラス使用

